

# 令和4年度 人材育成(キャリア教育)に関わる事業

令和4年8月5日 総合教育会議 資料№2-5

6月8日(水)に第1回庁内調整会議を行いました。各課での系統的な人材育成事業について、理解し合い、連携しながら推進し、年度途中または年度末に取組の成果や課題について評価します。

	今年度の取組み 事業名	対 象					事業のねらい(つきたい力)	事業内容	関係課
		幼 保	小	中	高	若 者			
1	飯田型キャリア教育推進事業  (小中連携・一貫教育)	○	○	○	○		・地育力を活用し、ふるさと飯田のつながりを知り、誇りや愛着をもつとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点、素養をもつ人材を育成する。	・自然体験、農業体験や環境学習が主な事業。各校での取組みに応じてキャリア教育学校交付金を交付 今年度予算額2,400千円。各校が実施するふるさと学習を支援。 ・幼時期から高等教育まで一貫した地域人育成が図れるように、生涯学習・スポーツ課に担当者を置き、高等学校や各部署とも連携を取りながら進める。 ・自らの変容や成長を自己評価していく「飯田版キャリア・パスポート」の活用を図る。教頭会調査研究プロジェクトやキャリア教育研究委員会で研究をしていく。  ・小中のスムーズな接続に向けて、小中連携・一貫教育の中でふるさと学習を中核としたキャリア教育の9か年学習カリキュラムを修正していく。	学校教育課 生涯学習・スポーツ課
2	いいだ型自然保育	○					・ESDにおける幼児教育・保育「いいだ型自然保育」の推進。 ・幼児教育の役割として、人生の土台・価値観・態度の育成を目的とし、「個性的」であり「質の高い」能力を持った大人への道を歩む「基礎」を身に付け、幼児期からの「環境教育」で地域に密着した体験を通し育む。	・公立保育園(16園)では、それぞれの地域の自然や資源、地域の方々の愛情の中で、感性を磨き、心豊かに人と関わり、主体的にたくましく生きる保育を実践。 ・NEALリーダー(自然体験活動指導者)養成講座の実施。公立保育園に勤務する全ての保育士が自然体験活動を指導する資格取得を目指す。	子育て支援課
3	飯田コミュニティスクール		○	○			・「めざす子ども像」実現のために学校・家庭・地域が主体的に取組み、すべての子どもたちが輝く学校を地域ぐるみでつくる。	・学校運営協議会を開催し、学校、地域、保護者が同テーブルに座り「めざす子ども像」や「学校ですること」「地域ですること」「家庭ですること」の目標を定めて、より多くの地域住民や保護者の方々が、学校と協働し、子どもたちを育てていくための事業を実施(親子体験教室・家庭教育講座・放課後子ども教室等)	飯田市公民館
4	職場体験・福祉体験			○			・自己理解や「働くこと」の意義を理解し、自分の人生を構築する様々な生き方や自己実現の可能性を拓ける。	・受け入れ業者と学校をつなぐ。生徒は事前学習、1～3日間職場での実体験、お礼の手紙等 7月実施校は延期または中止	学校教育課 生涯学習・スポーツ課
5	結いジュニアリーダー育成講座			○			・主体性、創造性、協調性、課題解決力を高める。	・中学2年生の代表者により年間7回の講座でSDGsを視野に入れ、地域の人とつながり、自分たちができる提案(課題解決)をする	学校教育課 生涯学習・スポーツ課
6	雇用対策事業(つなぐ事業)				○		【学生】 地元の企業や産業、地域で働く人に触れることを通じて、働くことの意義や尊さを学び、就労意欲を高め、職業選択の幅や自己実現の可能性を拓ける。 【企業】 企業の認知度を高め、学生にとって地元企業が将来の就職先の選択肢の一つとなることを目指す。	<企業の主体的な取組> ・フリースペース事業：事業所の空きスペースを高校生に開放 ・テーマ型事業：イイダアックス㈱「高校生の発想で家具づくり事業」等 <学校と連携した取組> ・飯田女子高等学校：休日や放課後の時間を活用したガイダンスの実施(令和3年度は8回実施、各回の参加学生は約10人) ・飯田風越高等学校：1・2年生(約440人)を対象に、地域の様々な職業分野で働く18人の講師を学校に招き、学生が希望する業種(職種)のお話を聞く ・松川高等学校：選択科目「キャリア探求エリア」(約30人)の授業の中で、学生が希望する業界で働く社会人から話を聞く。(令和3年度は、6事業所が参加)	産業振興課
7	高大連携				○		・学輪IIDAのネットワークを活用し、高校生が大学教授等による講義を受け、大学の学問に触れる機会を提供する。 ・大学講義(幅広い学問領域)に触れ、「学ぶことの楽しさ」「広い世界、様々な価値観」「多面的なものの見方」「自分の可能性」などを感じてもらい、学習意欲の向上や視野の拡大など、豊かな人間力の育成に向けたきっかけづくりを行う。 ・当地域を理解している大学教授等に講義をいただくことで、自分と地域との関係性や、自分の住む地域の価値を再認識する。	・大学教員による講義 四年制大学のない飯田で、高校生が大学での学びを体験するだけでなく、各高校の特色に沿った大学教員等による講義を実施。飯田とかかわりの深い学輪IIDAのメンバーの専門性により、大学の学びを身近な地域と具体的に紐づけ、学問として体系的に伝えることができる。 ・若手研究者との交流と探究学習の支援 飯田高校理数科×総合研究大学院大学。若手研究者(大学院生)から研究の面白さや研究活動の意義を高校生に対して熱く語ってもらう。また、高校の課題研究(探究学習)について大学院生、教員等が高校生にアドバイスを行う交流会を実施。	大学誘致連携推進室
8	地域人教育				○		・地域の歴史・文化・産業を知り、様々な自治活動を支える人々に学ぶ取組を通して、地域への愛着と誇りを持つとともに自身の生き方を考え、主体的に行動できるようになる。	・地域に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する次世代を担う人材を育む高校生教育として、地域を結び付ける教育活動の支援を実施(R3年度：飯田OIDE長姫高校、飯田風越高校、下伊那農業高校、飯田女子高校)	飯田市公民館
9	高校生講座				○		・LG(地域・地球)飯田教育の視点で、海外での経験や学びを通じて故郷や自身の生き方を考える。	・LG飯田教育の視点で、大局的なものの見方・考え方を養うことができる学びの場を提供する講座を実施	飯田市公民館

	今年度の取組み 事業名	対 象					事業のねらい（つきたい力）	事業内容	関係課		
		幼保	小	中	高	若者					
10	学輪IIDA共通カリキュラム フィールドスタディ					○	○	・飯田の価値を発見・共有化し、飯田での学びを体系化・見える化することで、飯田や学輪IIDAの魅力を高め、新たな域学連携、大学間連携の創出や、高校と大学の連携の在り方検討、実践展開等につなげる。 ・大学生が飯田で行うフィールドスタディに高校生が参加し、自らの暮らす地域の取り組みを学ぶとともに、それらを支える仕組みや地域の人々の思いに触れることで、地元への理解と愛着を育む。また、大学の学びを体感し、大学生の考え方に触れ、自分の将来の進路について考える機会とする。	・複数高校・大学の連携による飯田を舞台にした学びの機会創出 進学・就職を控える高校生にとって飯田を舞台に様々な大学の学生とともに学ぶ機会（フィールドスタディ）を、複数大学の教員の協働により実施。 [令和4年度実施予定] ・ソーシャルキャピタル×多様性FS ・地域経済FS ・遠山郷エコ・ジオパークFS	大学誘致連携推進室	
11	新 若者創発事業					○	○	・高校生や若者世代を対象として、交流から学びとなり、挑戦を生み、新たな価値の創発を通して、地域を担う人材の発掘、育成をする。	・飯田駅前プラザの運営を考えながら、利活用を考える高校生や若者と結び付き、自分たちがやりたいことに気づき、組織化して創発活動に向かっていく力を育むための学習について、グループの学習活動への支援 ・「ふらっと会議」では創発コーディネーターマネージャーを中心とし、関わる人全てで・創る・運営する・支える仕組みを構築し、新たな価値の創発を通して、地域を担う人材の発掘及び育成をする。今までに市民WGに参加していたメンバーやムトスぶらざで活動したい団体・個人、何かをやってみたい市民・職員などが情報共有の場を通じ、交流と学びを生み出しながら創発につながるよう1回の会議を実施。「ふらっと会議」での考えから若者創発事業へつなぐ。	飯田市公民館	
推進体制	キャリア教育推進協議会	○	○	○	○	○	○	・幼児期の教育から高等学校教育まで、発達段階に応じ体系的に行うキャリア教育の推進を図る	・年2回の協議会開催により、産学官の連携・協働により基本的な方針の策定と評価及び検証を行う	生涯学習・スポーツ課 学校教育課	
	キャリア教育研究委員会	○	○	○	○	○	○	・キャリア教育推進に係る幼保～高校までが連携した実践研究を行う	・年3回の研究委員会開催による幼保・小・中・高のキャリア教育のつながりの検討と、実践取組（探究的な学び）の情報共有	学校教育課 生涯学習・スポーツ課	
	幼保小連携推進委員会 (園小)	○	○						・主に就学前から学齢初期の子どもたちの「発達や学びのつながり」を支える取組を考えたり周知する。	・年2回の推進委員会で「幼稚園・保育園保護者向け啓発リーフレット」の活用や「引継ぎシート」の運用、「発達や学びのつながり」を支える取組の実践・報告。 ・幼保園の職員による小中合同職員会、研修会への参加を呼び掛ける。	学校教育課
	新 高校・地域が連携した研究会						1	・キャリア教育研究委員会のプロジェクトとして位置づける。 ・若者が自身のアイデンティティとなる地域に心根を置き、自らの人生を切り開いていく力を育むため、高校と地域が連携し、この地域の豊かな資源を効果的に高校教育に活用するための視点・手段・枠組みを研究する。	<（仮称）高校・地域が連携した研究会> ・参加者 高校：市内5高校より選出いただいた先生方 大学：学輪IIDAメンバー（アドバイザー） 地域：飯田市教育委員会、飯田市役所の関係部局 ・活動内容 定例研究会：情報共有・研修・意見交換等（年4～5回程度） 高校生の学びに関わる各種取組を持ち寄ったケーススタディ 成果の整理・まとめ 成果報告・共有（各高校での報告、学輪IIDA全体会等の機会に実施）	大学誘致連携推進室 生涯学習・スポーツ課	
	新 地域人育成（キャリア教育）推進フォーラム	○	○	○	○	○	○	○	・幼児期の教育から高等学校教育まで、発達段階に応じ体系的に行うキャリア教育の推進についての評価の場をもつ。	・2月11日（土）開催予定。幼保・小・中・高のキャリア教育のつながりや実践について発表を通して情報発信し、共有する。	生涯学習・スポーツ課 学校教育課
＜関連する事業＞											
1	乳幼児親子学習交流支援	○						・発達段階に応じた様々な活動の経験を通じて生きる力の基礎を獲得する。子育ての情報や知識を得たり悩みを共有するとともに親同士の地域内のつながりを形成する。	・乳幼児とその親を対象とした学級を、保健課と連携し20地区において実施	飯田市公民館	
2	外国籍児童生徒のための高校進学ガイダンス			○	○	○		・外国籍児童生徒に高校進学に関する情報提供と高校進学後の学校生活等のガイダンスを行う。	・長野健国際化協会と飯田国際交流推進協会との共催により、県の高校入試の情報提供や外国籍先輩生徒の話を聞く。	共生・協働推進課	
3	保育士を目指す高校生等アルバイト雇用				○			・将来の地域で働く保育人材の確保。	・保育士を目指す長期休暇中の高校生や短大生等を対象にアルバイト雇用を実施。	子育て支援課	
4	NIHONGO&MIRAI講座				○	○		・キャリア形成のための日本語学習支援。	・日本語能力試験に向けて、受験する者の学習支援	共生・協働推進課	
5	多様な学習交流支援	○	○	○	○	○	○	・地区の特色を生かした多様で主体的な学びを通して、地域の自治を担う人材の育成を目指す。	・地域住民が主体的に企画運営する各種学級講座を実施 (市民大学講座・夏期大学講座・伝統芸能継承等芸術文化活動・郷土学習・健康講座・環境・国際教育・平和学習・成人式等)	飯田市公民館	